

アンケート（案）の実施について

株式会社 NTT データ経営研究所

1. 目的

地方における医師不足等が指摘されている状況を踏まえ、地域医療の現状と、地域医療充実に資する遠隔医療技術の利用状況について、住民、行政、病院、行政に対し、調査を実施する。

2. 調査対象・調査数

対象	調査方法	調査対象数	抽出方法
①住民	医療機関等における配布	約 3000	条件不利地域の類型（過疎、辺地、離島、半島、山村、豪雪）ごとに実施市町村を一つずつ抽出【検討中】
②自治体（市町村）	質問紙による郵送調査	約 1800	条件不利地域に該当する市町村全て
③診療所	質問紙による郵送調査	約 1000 （抽出）	へき地診療所＋①で選定した地域の診療所
④特定機能病院・地域中核病院	質問紙による郵送調査	約 80 （全数）	全数
		約 400	2次医療圏毎に1病院ずつを目安に抽出 （地域支援病院、へき地医療支援病院を含む）

3. 調査実施時期

- ・平成20年4月 2日（水） 発送（予定）
- ・平成20年4月15日（火） ×切

4. 調査概要

①住民

- ・ 医療サービスの満足度
 - －医療機関への移動の状況
 - －近隣に医療機関がないことに対する不安感、必要と感じる医療提供体制
- ・ 遠隔医療について
 - －在宅健康相談、在宅健康管理、緊急通報についての利用状況、利用意向、自己負担可能額、利用による効果、利用にあたっての課題

②自治体

(市町村)

- ・ 地域医療サービスにおける課題
 - －一次診療体制、二次診療体制に対する課題
- ・ 自治体における地域医療充実のための取組
 - －医療サービス提供体制充実への独自の取組内容、その成果と課題
- ・ 遠隔医療について
 - －在宅健康相談、在宅健康管理、遠隔カンファランスの実施状況、実施による効果、実施にあたっての課題

③診療所

- ・ 診療の状況
 - －医師不足に関する課題
 - －在宅医療サービスの提供状況、課題
- ・ 遠隔医療について
 - －在宅健康相談、在宅健康管理、遠隔画像診断・遠隔病理診断、遠隔カンファランスの利用状況、利用意向、利用による効果、利用に当たっての課題

④特定機能病院・地域中核病院

- ・ 遠隔医療について
 - －遠隔画像診断・遠隔病理診断の実施状況・実施による効果、実施に当たっての課題

※ 参考

- 在宅健康相談
家にいながら、電話やメール、テレビ電話で、医師や看護師等による相談ができるサービス。
- 在宅健康管理
家にいながら電話やメール、テレビ電話で、医師や看護師による相談をするときに、血圧や血糖などの測定結果を送り、より詳細な相談が受けられるサービス。
- 緊急通報
急に倒れたときに、自動的に通報されるサービス。
- 遠隔画像診断、遠隔病理診断
読影、病理の専門医がいない医療機関が、遠隔地の医療機関の専門医に画像を送信し、診断支援を受けるサービス。

以上

アンケート項目（案）

（別添）

①住民向けアンケート案

視点	No.	質問項目	選択肢	備考	
1. 基本情報	F1	所在地	郵便番号		
	F2	年齢	1. 20～29 2. 30～39 3. 40～49 4. 50～59 5. 60～69 6. 70～79 7. 80～		
		性別	男・女		
	F4-1	家族構成	1. ひとり暮らし 2. 同居家族あり		
	F4-2	(同居家族ありの場合)	1. 高齢者(65歳以上)夫婦・親子・兄弟姉妹のみの世帯である 2. 上記以外の高齢者(65歳以上)と共同生活している 3. 6歳未満の小児又は妊婦がいる 4. その他		
2. 受療状態	Q1	この2ヶ月に治療を受けていますか。	1. 具合の悪いところはないので受けていない、又は治療を受けて完治した 2. 具合の悪いところはある(あった)が、治療を受けていない 3. 現在、治療中(ケガ・生活習慣病・その他)		
	Q2	かかりつけ医はいますか。	1. はい 2. いいえ		
	Q3-1	毎年健康診断は受けていますか。	1. はい 2. いいえ	→3へ	
	Q3-2	健康診断を受けない理由は何ですか。(複数可)	1. 健診機関が近くに無いから 2. 健診費用が高いから 3. 健康に不安がないから 4. 忙しいから 5. 面倒だから 6. 病気が見つかるのが怖いから 7. 病院など治療中のため 8. 妊娠中のため 9. 上記以外の理由		
3. 医療サービスの満足度	医療機関への移動の困難度	Q1	医療機関までの通院時間は片道どのくらいかかりますか。いつも利用している先について、該当箇所をご回答ください。	1. 診療所(風邪、ちょっとした体調不良時に使う「かかりつけ先」) 2. 救急病院(緊急の際に、入院したことがある、もしくは行こうと思う先) 3. 産科・小児科(のかかりつけ先) 4. 生活習慣病(高血圧、糖尿病等)治療先 5. リハビリ用施設 6. 上記以外	(移動手段 車/電車/飛行機) (移動時間もセットで選択させる) 1. ~10分未満 2. 10分以上30分未満 3. 30分以上60分未満 4. 1時間以上3時間未満 5. 3時間以上
		Q2	通院について困っていることはありますか。(複数可)	1. 医療機関までの時間がかかる 2. 医療機関までの交通手段が乏しい 3. 医療機関までの移動にかかる費用が高い 4. 通院をサポートしてくれる家族・介助者がいない 5. 育児や介護で通院できない 6. 通院先では専門的な医療を受けられない 7. 上記以外の理由 8. 困っていることは特いない	
	往診依頼の困難度	Q3	医師の往診や訪問看護を受けていますか。	1. 現在、受けている 2. 以前、受けたことがある 3. 往診・訪問看護をおこなっている先がないため、受けることができない 4. 往診・訪問看護をおこなっている先はあるものの、受けたことがない	
		Q3-2	往診や訪問看護で困っていることはありますか。(複数可)	1. 近くに往診や訪問看護をしてくれるところがない 2. 医師や看護師が訪問する回数が少ない 3. 医師や看護師が忙しそうで相談しづらい 4. 専門的な診察や検査が受けられない 5. 上記以外の理由で困っていることがある 6. 困っていることは特いない	
	診療に対する不安感	Q4-1	医療を受ける際に不安に感じていることはありますか。	1. はい 2. いいえ	→Q5へ
		Q4-2	医療を受ける際に不安に感じていることは何ですか。(複数可)	1. 医療機関が近くに無く、病気やケガをした際に不安である 2. 小児科が近くに無く子供が病気やケガをした際に不安である 3. 産婦人科が近くに無く、妊娠・出産に不安がある 4. 救急医療機関が近くに無く、病気やケガをしたときに不安である 5. 夜間・休日時に受けられる医療機関が近くに無く、病気やケガをしたときに不安である 6. 医療機関が近くにあるが、専門外の領域において適切な診療を受けられるかどうか不安である 7. 上記以外の点で不安がある 8. 特に不安なことはない	
Q5		生活習慣病(高血圧・糖尿病など)について、現在どのようにお考えでしょうか。	1. 生活習慣病であるため、体調を管理するなど気をつけている 2. 生活習慣病(又は予備軍)であるが、特に気をつけてはいない 3. 生活習慣病ではないが、体調を管理するなど気をつけている 4. 生活習慣病ではないので、特に気をつけてはいない		
Q6		脳梗塞やケガなどによってリハビリが必要となった場合に、不安又は困っていることがあれば、その理由をお答えください。(複数可)	1. 近くにリハビリを行える施設がない 2. 自宅で介助してくれる人(家族・同居人)がいない 3. 自宅で介助してくれるサービス(訪問介護等)がない 4. リハビリの方法が分からない 5. 上記以外の理由 6. 現在リハビリの必要がないため、わからない 7. 不安や困っていることは特いない		
全体的な満足度	Q7	全体として現在の医療を受ける体制について、どのようなことが必要だと感じますか？(複数可)	1. 医療機関の数が少ないので、増やしてほしい 2. 夜間・救急診療してくれる医療機関がないので、設置してほしい 3. 受けたい診療科目がないので、近くに設置してほしい 4. 信頼して相談できる医者に近隣に来てもらいたい 5. リハビリ施設や介助サービスを設置してほしい 6. 上記以外の理由 7. 現在の医療体制に満足しているので、特いない	(診療科目を選択性にする。内科、小児科、婦人科・産科、皮膚科等)	
受診機会の増加への期待感	Q8	在宅で受けられたらよいと思うサービスとして、どのようなものがありますか。(複数可)	1. パソコン・携帯電話で診療状況(診療科・外来の様子など)が確認できる仕組みがあるとよい 2. 自宅で医師の診察・リハビリ指導を受けることができる仕組みがあるとよい 3. 自宅で健康に関する数字のチェックと管理ができ、いつでも栄養士等に相談できる仕組みがあるとよい 4. 上記以外の方法 5. よくわからない 6. 特に必要だと思うものはない		

視点	No.	質問項目	選択肢	備考	
4.在宅遠隔医療の受容可能性	(利用状況)	Q1-1	家にいながら、電話やメール、テレビ電話で、かかりつけ医の診察や看護師や栄養士による健康相談、介護相談をしたことがありますか。	1. はい 2. いいえ →Q1-3へ	★イメージ図
		Q1-2	利用をしてどのような効果がありましたか。(複数可)	1. 時間外でも相談ができて、安心した 2. 通院時間が短縮され時間に余裕ができた 3. 交通費が節約できた 4. 特に効果を感じなかった 5. 相談等に利用する機器が使いにくかった 6. 実際に対面していないので、気持ちが伝わりにくかった 7. 上記以外	
		Q1-3	家にいながら、電話やメール、テレビ電話で、かかりつけ医の診察や看護師や栄養士による健康相談、介護相談を試みたいと思いますか。	1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらかといえばそう思わない 4. そう思わない →Q1-6へ →Q1-6へ	
		Q1-4	Q1-3で1,2と回答の場合、そう思う理由はどのようなことですか。(複数可)	1. 分からないことが気軽に相談ができて、安心できると思うから 2. 診断・治療方針など専門的なことが分かるから 3. 時間外でも相談ができて、安心できると思うから 4. 通院にかかる時間や費用負担を減らすことができると思うから 5. 上記以外	
		Q1-5	Q1-3で1,2と回答の場合、どのくらいならご自身で負担ができますか。	1. 月額 500円未満 2. 月額 500円以上 1,000円未満 3. 月額 1,000円以上 2,000円未満 4. 月額 2,000円以上 5,000円未満 5. 月額 5,000円以上 1万円未満 6. 月額 1万円以上 7. 自己負担はできない	
		Q1-6	Q1-3で3,4と回答の場合、そう思わない理由はどのようなことですか。(複数可)	1. プライバシーに不安があるから 2. 操作が難しい、難しそうだから 3. 必要を感じないから 4. 費用が高そうだから 5. どのようなものかが分からないから 6. 直接医療機関で見てもらいたいから	
		Q1-7	Q1-3で1,2と回答の場合、そう思う理由は何ですか。(複数可)	1. 分からないことが気軽に相談ができて、安心できると思うから 2. 診断・治療方針など専門的なことが分かるから 3. 時間外でも相談ができて、安心できると思うから 4. 通院にかかる時間や費用負担を減らすことができると思うから 5. 上記以外	
在宅健康管理・検査(利用状況)	(利用受容)	Q2-1	家にいながら電話やメール、テレビ電話で、医師や看護師による相談を受けるときに、血圧や血糖などの測定結果を送り、より詳細な相談を受けるサービスを利用したことがありますか。	1. はい 2. いいえ →Q2-3へ	★イメージ図(作成中)
		Q2-2	利用をしてどのような効果がありましたか。	1. 時間外でも相談ができて、安心した 2. 通院時間が短縮され時間に余裕ができた 3. 交通費が節約できた 4. 特に効果を感じなかった 5. 相談等に利用する機器が使いにくかった 6. 実際に対面していないので、気持ちが伝わりにくかった 7. 上記以外 →Q3-1へ →Q3-1へ →Q3-1へ	
		Q2-3	家にいながら医師や看護師による相談を受けるときに、血圧や血糖などの測定結果を送り、より詳細な相談を受けるサービスを利用してみたいと思いますか。	1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらかといえばそう思わない 4. そう思わない →Q2-6へ →Q2-6へ	
		Q2-4	Q2-3で1,2と回答の場合、そう思う理由はどのようなことですか。(複数可)	1. 詳細に医師や看護師にみてもらえて、安心できると思うから 2. 診断・治療方針など専門的なことが分かるから 3. 血糖や血圧などの測定結果を自分でも把握したいから 4. 検診にかかる時間や費用負担を減らすことができると思うから 5. 上記以外	
		Q2-5	Q2-3で1,2と回答の場合、どのくらいならご自身で負担ができますか。	1. 月額 500円未満 2. 月額 500円以上 1,000円未満 3. 月額 1,000円以上 2,000円未満 4. 月額 2,000円以上 5,000円未満 5. 月額 5,000円以上 1万円未満 6. 月額 1万円以上 7. 自己負担はできない	
		Q2-6	Q2-3で3,4と回答の場合、そう思わない理由はどのようなことですか。(複数可)	1. プライバシーに不安があるから 2. 操作が難しい、難しそうだから 3. 必要を感じないから 4. 費用が高そうだから 5. どのようなものかが分からないから 6. 直接医療機関で見てもらいたいから	
		Q2-7	Q2-3で1,2と回答の場合、そう思う理由は何ですか。(複数可)	1. 詳細に医師や看護師にみてもらえて、安心できると思うから 2. 診断・治療方針など専門的なことが分かるから 3. 血糖や血圧などの測定結果を自分でも把握したいから 4. 検診にかかる時間や費用負担を減らすことができると思うから 5. 上記以外	
緊急通報	(利用状況)	Q3-1	自分が急に倒れるなどの緊急時に誰かが気づいてくれるかどうか、また家族が倒れたときにすぐに気づくかどうか、不安に感じていますか。	1. はい 2. いいえ	
		Q3-2	急に倒れたときに、自動的に通報してくれるサービスがあることをご存知ですか。また、利用したことがありますか。	1. 利用中、又は利用したことがある 2. サービスがあるのは知っていたが、利用したことはない 3. サービスがあること自体知らなかった →Q3-4へ →Q3-4へ	
		Q3-3	利用をしてどのような効果がありましたか。(複数可)	1. いつでも見守ってもらえるので、本人が安心できた 2. 周りのひとが、安心して過ごすことができた 3. 実際に、緊急通報を使って、助かった 4. 特に効果を感じなかった 5. 通報等に利用する機器が使いにくかった 6. 実際に対面していないので、気持ちが伝わりにくかった 7. 上記以外 →Q4へ →Q4へ →Q4へ	
		Q3-4	急に倒れたときに、自動的に通報してくれるサービスを利用してみたいと思いますか。	1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらかといえばそう思わない 4. そう思わない →Q3-7へ →Q3-7へ	
		Q3-5	Q3-4で1,2と回答の場合、そう思う理由はどのようなことですか。(複数可)	1. いつでも見守ってもらえて、安心できると思うから 2. 周りの人が安心して過ごすことができると思うから 3. 上記以外	

視点	No.	質問項目	選択肢	備考
	Q3-6	Q3-4で1.2と回答の場合、どのくらいならご自身で負担ができますか。	1. 月額 500円未満 2. 月額 500円以上 1,000円未満 3. 月額 1000円以上 2,000円未満 4. 月額 2000円以上 5,000円未満 5. 月額 5000円以上 1万円未満 6. 月額 1万円以上 7. 自己負担はできない	
	Q3-7	Q3-4で3.4と回答の場合、そう思わない理由はどのようなことですか(複数可)	1. プライバシーに不安があるから 2. 操作が難しい、難しそうだから 3. 必要を感じないから 4. 費用が高そうだから 5. どのようなものかが分からないから 6. 直接医療機関で見てもらいたいから	
利用するにあたっての課題	Q4	家にいながら電話や電子メール、テレビ電話で、医師や看護師による相談サービスや、自動的に緊急通報してくれるサービス等を利用される際に問題となることはどのようなことですか。(複数可)	1. プライバシーに不安がある 2. 操作が難しい、難しそう 3. 必要を感じない 4. 費用が高そう 5. どのようなものかが分からない 6. 正確に診断等してもらえるかどうか不安	

②市町村向けアンケート案

視点	No.	質問項目	選択肢	備考
1. 基本情報	F1	市町村名		
	F2	所在地	郵便番号	
	F3	担当者連絡先	部署名・電話番号・氏名	
	F4	人口はどのくらいですか。	()万人(H20.3現在)	
	F5	国保被保険者数はどのくらいですか。	()万人(H20.3現在)	
	F6	高齢化率はどのくらいですか。	()%(H20.3現在)	
	F7	貴市町村が抱える地域ほどのものでありますか。(複数可)	1. 過疎 2. 山村 3. 豪雪 4. 特豪 5. 離島 6. 沖縄 7. 奄美 8. 適応外	
	F8	貴市町村にいる医療従事者数	1. 医師(常勤/非常勤) 2. 歯科医師(常勤/非常勤) 3. 薬剤師 4. 保健師 5. 看護師 6. 歯科衛生士 7. 診療放射線技師 8. 栄養士 9. 社会福祉士 10. その他	概算人数を記す
2. 地域住民の満足度とその理由	Q1	貴市町村の住民からは、医療サービスに対してどのような形で意見などが寄せられていますか。	1. 電話や手紙、メールで意見が寄せられている 2. 市町村で実施したアンケートで、意見が寄せられている 3. 市町村の保健事業等サービスの参加者から寄せられている 4. 特にそのような意見は寄せられていない	
	Q2	貴市町村の住民が、医療サービス提供体制に満足するための、1次診療提供体制に関する課題にはどのようなものがありますか。(複数可)	1. かかりつけ医(1次診療)の体制が不足している 2. 小児科が不足している 3. 産婦人科が不足している 4. 眼科・耳鼻科・皮膚科が不足している 5. 整形外科が不足している 6. 歯科が不足している 7. 上記以外の診療科が不足している 8. 特にない	
	Q3	同様に、2次診療提供体制に関する課題にはどのようなものがありますか。(複数可)	1. 精密検査を受けられる体制が不足している 2. 救急搬送体制が不足している 3. 夜間・休日受診体制が不足している 4. 病院-診療所の連携がうまくいっていない 5. 2次医療機関の絶対数が不足している 6. 上記以外 7. 特にない	
	Q4	在宅医療について、貴市町村が抱える課題にはどのようなものがありますか。(複数可)	1. 対応可能な医療機関・医師が不足している 2. 医師の専門的な知識が不足している 3. 医師が休んだ際にサポート体制が不足している 4. 訪問看護体制が不足している 5. 上記以外に課題がある 6. 特に課題はない	
3. 地方自治体の取組内容とその課題	Q1-1	貴市町村における医療サービス提供において現在最も重要な課題は何ですか。	1. 医師の不足 2. 専門医(小児科、産婦人科等)の不足 3. 看護師の不足 4. 市町村立医療施設の経営 5. 上記以外で課題がある	
	Q1-2	貴市町村にて医師や看護師確保のために独自に取り組んでいることはありますか。(複数可)	1. 医師や看護師の研修・生涯学習に対する支援 2. 医師や看護師の生活に対する支援 3. 医師や看護師の家族に対する支援 4. 医師や看護師の人材紹介 5. 上記以外に取り組んでいることがある	
	Q2	貴市町村にて医療サービス提供体制の充実のために独自に取り組んでいることはありますか。(複数可)	1. 受診支援のための住民輸送バス・タクシーなどの移動手段支援 2. 遠隔医療(電話・テレビ電話など) 3. 健康・介護相談(電話・メール・テレビ電話など) 4. 住民向けの夜間・休日の診療体制の確保 5. 住民向けの緊急通報システムの確保 6. 住民向けの巡回健診 7. 上記以外に取り組んでいることがある	
	Q3	これらの取組によりどのような成果がありましたか。(複数可)	1. 住民の受診機会が増えた 2. 住民の緊急時の対応ができるようになった 3. 住民の安心感が増した 4. 住民の医療に対する知識が向上した 5. 特に成果はない 6. 上記以外	
	Q4	独自の取組を進めるにあたり、課題となっているのはどのようなことですか。(複数可)	1. 企画スタッフの不足 2. 保健スタッフの不足 3. 財源の不足 4. インフラの不足 5. 特に課題はない 6. 上記以外に課題がある	
	Q5	今後重視していきたいと考える課題はどのようなことですか。(複数可)	1. 生活習慣病予防の充実 2. 介護予防の充実 3. 小児科・産婦人科医療の充実 4. 救急医療の充実 5. 医療機関の医師の充実	

視点	No.	質問項目	選択肢	備考	
4. 遠隔医療技術利用意向	(1)在宅健康相談(遠隔医療・健康・介護相談)	Q1-1	貴市町村では、在宅健康相談(在宅の住民に対し、医師や看護師などが医療機関にいながら健康・医療・介護に関する相談を行うこと)を実施していますか。	1. 実施している 2. 実施していない →Q2へ	★イメージ図
		Q1-2	運営費は何でまかっていますか。(複数可)	1. 貴市町村独自予算 2. 国、自治体の補助 3. 支援医療機関の補助 4. 各医療機関の支払う利用料 5. 住民の支払う利用料 6. 上記以外	
		Q2-1	利用することが住民のメリットに思いますか。	1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらかといえばそう思わない 4. そう思わない →Q2-3へ →Q2-3へ	
		Q2-2	そう思う理由はどのようなことですか。(複数可)	1. 自由な時間に相談にのることができると思われるから 2. 診療所の業務負担が軽減されると思われるから 3. より多くの住民を受け入れられるようになると思われるから 4. 住民の満足度が上がると思われるから 5. 上記以外の理由	
		Q2-3	そう思わない理由はどのようなことですか。(複数可)	1. 設備費用・維持費が高い 2. 相談を受ける側の医師・医療従事者が足りない 3. 操作が面倒である、システムが使いにくい 4. 住民のニーズが低い 5. 上記以外の理由	
	(2)在宅健康管理・検査	Q1-1	在宅健康管理・検査(在宅の住民の生体データをもとに診断、自己治療や健康管理支援を行うこと)を実施していますか。	1. 実施している 2. 実施していない →Q2へ	
		Q1-2	運営費は何でまかっていますか。(複数可)	1. 貴市町村独自予算 2. 国、自治体の補助 3. 支援医療機関の補助 4. 各医療機関の支払う利用料 5. 住民の支払う利用料 6. 上記以外	
		Q2-1	利用することが住民のメリットに思いますか。	1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらかといえばそう思わない 4. そう思わない →Q2-3へ →Q2-3へ	
		Q2-2	そう思う理由はどのようなことですか。(複数可)	1. 自由な時間に相談にのることができると思われるから 2. 診療所の業務負担が軽減されると思われるから 3. より多くの住民を受け入れられるようになると思われるから 4. 住民の満足度が上がると思われるから 5. 上記以外の理由	
		Q2-3	そう思わない理由はどのようなことですか。(複数可)	1. 設備費用・維持費が高い 2. 相談を受ける側の医師・医療従事者が足りない 3. 操作が面倒である、システムが使いにくい 4. 住民のニーズが低い 5. 上記以外の理由	
	(3)遠隔カンファランス	Q1-1	遠隔地の医療機関や保健センター間で、診療内容について、テレビ電話等を使って相談・会議(遠隔カンファランス)を利用していますか。	1. 利用している 2. 利用していない →Q2-1へ	
		Q1-2	運営費は何でまかっていますか。(複数可)	1. 国、自治体の補助 2. 支援医療機関の補助 3. 各医療機関の支払う利用料 4. 住民の支払う利用料 5. 上記以外	
		Q2-1	利用することが住民のメリットに思いますか。	1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらかといえばそう思わない 4. そう思わない →Q2-3へ →Q2-3へ	
		Q2-2	そう思う理由はどのようなことですか。	1. 正確な診断ができると思われるから 2. 診療に携わる医師の不安が軽減されると思われるから 3. より多くの住民を受け入れられるようになると思われるから 4. 住民の満足度が上がると思われるから 5. 上記以外	
		Q2-3	そう思わない理由はどのようなことですか	1. 設備費用・維持費が高い 2. 相談を受ける側の医師・医療従事者が足りない 3. 操作が面倒である、システムが使いにくい 4. 住民のニーズが低い 5. 上記以外	
Q3		住民に求めることのできる自己負担額はどのくらいですか。	1. 設置から運営費までをまかなえる料金を自己負担とする 2. 運営費くらいはまかなえる料金を自己負担額とする 3. コストは別として、住民が利用しやすい自己負担額とする 4. 自己負担を求めることはできない		

③診療所向けアンケート案

視点	No.	質問項目	選択肢	備考	
1. 基本情報	F1	医療機関名			
	F2	医療機関コード	保健所符号3桁+整理番号		
2. 診療所の状況	F3	所在地	郵便番号		
	F4	二次医療圏名	二次医療圏名		
	F5	病床数	記述(2桁)		
	F6	従事者数	1. 医師(常勤/非常勤) 2. 歯科医師(常勤/非常勤) 3. 薬剤師 4. 保健師 5. 看護師 6. 歯科衛生士 7. 診療放射線技師 8. 栄養士 9. 社会福祉士 10. その他		
	F7	患者数	外来/入院		
	F8	診療科	内科、外科など38科目		
	F9	へき地診療所指定を受けていますか？	1. はい 2. いいえ		
	F10	診療所が設置されている地域の法律適用状況を教えてください。(複数可)	1. 過疎 2. 山村 3. 豪雪 4. 特豪 5. 離島 6. 沖縄 7. 奄美 8. 適応外		
	F11	診療所の診療圏の対象人口はおおよそ何人ですか。	1. ~499 2. 500~999 3. 1000~1999 4. 2000~4999 5. 5000~9999 6. 10000~		
	F12	同じ診療圏内には貴診療所の他にいくつ医療機関がありますか。	1. なし 2. 1~4 3. 5~9 4. 10~19 5. 20~		
	3. 地域医療の状況	診療の困難度	Q1	貴院で患者に治療を行う際に抱えている課題は何ですか。(複数可)	1. 忙しくて診察時にゆっくり相談に応じることができない 2. 急に医師や看護師が休んだときの代替確保ができない 3. 医師や看護師が長期の休みをとることができない 4. 地域医療の専門知識が不足している 5. 紹介先病院との情報連携がうまく行っていない 6. 専門的な診断(画像や病理)ができない 7. 上記以外に課題がある
		往診の困難度	Q2	在宅医療サービス(往診・訪問看護等)を実施していますか。	1. はい 2. いいえ →Q5へ
		Q3	在宅医療サービス(往診・訪問看護等)を実施している患者は何人くらいですか。	1. 1人 2. 2~5人 3. 6~10人 4. 11~20人 5. 20~50人 6. 100人以上	
往診依頼の対応度		Q4	在宅医療サービス(往診・訪問看護等)の依頼に対してどのように対応されていますか。	1. 要望のある全ての患者に在宅医療サービスができている 2. 要望のある患者の80%以上には在宅医療サービスができている 3. 要望のある患者の50%以上80%未満に在宅医療サービスができている 4. 要望のある患者の20%以上50%未満に在宅医療サービスができている 5. 要望のある患者の20%未満に在宅医療サービスができていない	
往診機会の充充分度		Q5	在宅医療サービス(往診・訪問看護等)を提供するうえでの課題は何ですか。(複数可)	1. 回数を増やしたくても増やせない 2. 忙しくて訪問時にゆっくり相談に応じることができない 3. 急に医師や看護師が休んだときの代替確保ができない 4. 医師や看護師が長期の休みをとることができない 5. 在宅医療に関する専門知識が不足している 6. 在宅医療にかかる費用が高い 7. 遠隔地のため、訪問が困難である 8. 上記以外に課題がある	

視点	No.	質問項目	選択肢	備考	
4.在宅 遠隔医療等について (利用状況)	Q1-1	在宅健康相談(在宅の患者に対し、医師や看護師などが医療機関にしながら健康・医療・介護に関する相談を行うこと)を実施していますか。	1. 実施している 2. 実施していない →Q2-1へ	★イメージ図	
	Q1-2	主にどんな手段で実施していますか。(複数可)	1. 電話 2. FAX 3. 電子メール 4. テレビ電話 5. 上記以外		
	Q1-3	どのくらいの頻度で行っていますか。	1. 毎日 2. 週1回以上 3. 月1回以上 4. 半年1回以上 5. 年1回以下 6. 全く利用していない		
	Q1-4	どのような効果がありましたか。(複数可)	1. 自由な時間に相談にのることができた 2. 診療所の業務負担が軽減された 3. より多くの患者を受け入れられるようになった 4. 患者の満足度が上がった 5. 特に効果を感じなかった 6. 上記以外	(選択肢は5段階評価) 1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらともいえない 4. どちらかといえばそう思わない 5. そう思わない	
	Q1-5	運営費は何でまかっていますか。(複数可)	1. 国、自治体の補助 2. 支援医療機関の補助 3. 各医療機関の支払う利用料 4. 患者の支払う利用料 5. 上記以外		
	Q1-6	どのような課題がありますか。(複数可)	1. プライバシーに不安がある 2. 操作が難しい 3. 必要を感じない 4. 相談を受ける側の医師・医療従事者が足りない 5. 利用するインセンティブ(収入等)が少ない 6. 設備費用・維持費が高い	(選択肢は5段階評価) 1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらともいえない 4. どちらかといえばそう思わない 5. そう思わない	
	(利用受容)	Q2-1	相談のためにテレビ電話を利用してみたいと思いますか。	1. そう思う →Q2-2へ 2. どちらかといえばそう思う →Q2-2へ 3. どちらかといえばそう思わない →Q2-3へ 4. そう思わない →Q2-3へ	
		Q2-2	そう思う理由はどのようなことですか。(複数可)	1. 患者の状況がよくわかるから 2. 診療所の業務負担が軽減されると思われるから 3. より多くの患者を受け入れられるようになると思われるから 4. 患者の満足度が上がると思われるから 5. 上記以外	
	(利用していない理由)	Q2-3	そう思わない理由はどのようなことですか。(複数可)	1. 設備費用・維持費が高い 2. 相談を受ける側の医師・医療従事者が足りない 3. 操作が面倒である、システムが使いにくい 4. 患者のニーズが低い 5. 対面診療でない診療が不安 6. 上記以外の理由	
		Q1-1	在宅健康管理・検査(在宅の患者から相談を受けるときに、血圧や血糖などの測定結果を送ってもらい、より詳細な相談を行うこと)を実施していますか。	1. 実施している 2. 実施していない →Q2-1へ	★イメージ図(作成中)
	(2)在宅健康管理・検査 (利用状況)	Q1-2	どのくらいの頻度で行っていますか。	1. 毎日 2. 週1回以上 3. 月1回以上 4. 半年1回以上 5. 年1回以下 6. 全く利用していない	
		Q1-3	どのような効果がありましたか。(複数可)	1. 自由な時間に相談にのることができた 2. 医療機関の業務負担が軽減された 3. より多くの患者を受け入れられるようになった 4. 患者の満足度が上がった 5. 上記以外の効果があった 6. 特に効果を感じなかった	(選択肢は5段階評価) 1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらともいえない 4. どちらかといえばそう思わない 5. そう思わない
Q1-4		運営費は何でまかっていますか。(複数可)	1. 国、自治体の補助 2. 支援医療機関の補助 3. 各医療機関の支払う利用料 4. 患者の支払う利用料 5. 上記以外		
Q1-5		どのような課題がありますか。(複数可)	1. 画像の精度が悪い、通信スピードが遅い 2. 操作が面倒である、システムが使いにくい 3. 設備費用・維持費が高い 4. スタッフのITを活用する技術が高くない 5. 実施する側の医師・医療従事者が足りない 6. 利用するインセンティブ(収入等)が少ない 7. 上記以外	(選択肢は5段階評価) 1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらともいえない 4. どちらかといえばそう思わない 5. そう思わない	
(利用受容)		Q2-1	利用してみたいと思いますか。	1. そう思う →Q2-2へ 2. どちらかといえばそう思う →Q2-2へ 3. どちらかといえばそう思わない →Q2-3へ 4. そう思わない →Q2-3へ	
		Q2-2	そう思う理由はどのようなことですか。	1. 自由な時間に相談にのることができると思われるから 2. 医療機関の業務負担が軽減されると思われるから 3. より多くの患者を受け入れられるようになると思われるから 4. 患者の満足度が上がると思われるから 5. 上記以外の理由	
(利用していない理由)		Q2-3	そう思わない理由はどのようなことですか	1. 設備費用・維持費が高い 2. 相談を受ける側の医師・医療従事者が足りない 3. 操作が面倒である、システムが使いにくい 4. 患者のニーズが低い 5. 対面でない診療が不安 6. 上記以外の理由	

視点	No.	質問項目	選択肢	備考		
5. 専門医支援について	(1) 遠隔画像診断・遠隔病理診断 (利用状況)	Q1-1	遠隔画像診断や遠隔病理診断による専門医からの支援を受けていますか。	1. 受けている 2. 受けていない →Q2-1へ	★イメージ図(作成中)	
		Q1-2	どのくらいの頻度で行っていますか。	1. 毎日 2. 週1回以上 3. 月1回以上 4. 半年1回以上 5. 年1回以下 6. 全く利用していない		
		Q1-3	どのような効果がありましたか。(複数可)	1. 診断が正確になった 2. 診療に携わる医師の不安が軽減された 3. より多くの患者を受け入れられるようになった 4. 患者の満足度が上がった 5. 特に効果を感じなかった 6. 上記以外	(選択肢は5段階評価) 1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらともいえない 4. どちらかといえばそう思わない 5. そう思わない	
		Q1-4	運営費は何でまかっていますか。(複数可)	1. 国、自治体の補助 2. 支援医療機関の補助 3. 各医療機関の支払う利用料 4. 患者の支払う利用料 5. 上記以外		
		Q1-5	どのような課題がありますか。	1. 画像の精度が悪い、通信スピードが遅い 2. 操作が面倒である、システムが使いにくい 3. 設備費用・維持費が高い 4. スタッフのシステム処理能力が高くない 5. 診断をする側の専門医が足りない 6. 利用するインセンティブ(収入等)が少ない 7. 上記以外	(選択肢は5段階評価) 1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらともいえない 4. どちらかといえばそう思わない 5. そう思わない	
	(利用受容)	Q2-1	利用してみたいと思いますか。	1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらかといえばそう思わない 4. そう思わない →Q2-2へ →Q2-2へ →Q2-3へ →Q2-3へ		
		Q2-2	そう思う理由は何のようなことですか。(複数可)	1. 診断が正確になる可能性があるから 2. 診療に携わる医師の不安が軽減されると思われるから 3. より多くの患者を受け入れられるようになると思われるから 4. 患者の満足度が上がると思われるから 5. 上記以外の理由		
		(利用していない理由)	Q2-3	そう思わない理由は何のようなことですか。(複数可)	1. 設備費用・維持費が高いから 2. 相談を受ける側の医師・医療従事者が足りないから 3. 操作が面倒である、システムが使いにくいから 4. 患者のニーズが低いから 5. 上記以外の理由	
			Q1-1	遠隔地の医療機関や保健センター間で、診療内容について、テレビ電話等を使って相談・会議(遠隔カンファランス)を利用していますか。	1. 利用している 2. 利用していない →Q2-1へ	★イメージ図(作成中)
		(2) 遠隔カンファランス (利用状況)	(利用受容)	Q1-3	どのくらいの頻度で行っていますか。	1. 毎日 2. 週1回以上 3. 月1回以上 4. 半年1回以上 5. 年1回以下 6. 全く利用していない
Q1-4	どのような効果がありましたか。(複数可)			1. 診断が正確になった 2. 診療に携わる医師の不安が軽減された 3. より多くの患者を受け入れられるようになった 4. 患者の満足度が上がった 5. 上記以外の効果があった 6. 特に効果を感じなかった	(選択肢は5段階評価) 1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらともいえない 4. どちらかといえばそう思わない 5. そう思わない	
Q1-5	運営費は何でまかっていますか。(複数可)			1. 国、自治体の補助 2. 支援医療機関の補助 3. 各医療機関の支払う利用料 4. 患者の支払う利用料 5. 上記以外		
Q1-6	どのような課題がありますか。			1. 画像の精度が悪い、通信スピードが遅い 2. 操作が面倒である、システムが使いにくい 3. 設備費用・維持費が高い 4. スタッフのITを活用する技術が高くない 5. 相談を受ける側の専門医が足りない 6. 利用するインセンティブ(収入等)が少ない 7. 上記以外	(選択肢は5段階評価) 1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらともいえない 4. どちらかといえばそう思わない 5. そう思わない	
Q2-1	利用してみたいと思いますか。			1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらかといえばそう思わない 4. そう思わない →Q2-2へ →Q2-2へ →Q2-3へ →Q2-3へ		
(利用していない理由)	Q2-2		そう思う理由は何のようなことですか。	1. 診断が正確になると思われるから 2. 診療に携わる医師の不安が軽減されるから 3. より多くの患者を受け入れられるようになるから 4. 患者の満足度が上がると思われるから 5. 上記以外		
	Q2-3		そう思わない理由は何のようなことですか	1. 設備費用・維持費が高いから 2. 相談を受ける側の医師・医療従事者が足りないから 3. 操作が面倒である、システムが使いにくいから 4. 患者のニーズが低いから 5. 上記以外		
	Q3		これらのサービスについて、診療所が費用の一部を負担する場合、患者一人当たりどのくらいまでなら可能ですか。	1. 月額 500円未満 2. 月額 500円以上 1,000円未満 3. 月額 1000円以上 2,000円未満 4. 月額 2000円以上 5,000円未満 5. 月額 5000円以上 1万円未満 6. 月額 1万円以上 7. 負担することは難しい		

④特定機能病院・地域中核病院向けアンケート案

視点	No.	質問項目	選択肢	備考			
1. 基本情報	F1	医療機関名					
	F2	医療機関コード	保健所符号3桁+整理番号				
2. 病院の状況	所在地	F3	所在地	郵便番号及び記述			
		F4	二次医療圏名	二次医療圏名			
	規模	F5	病床数・病床区分・稼働病床数	記述(4桁)			
		F6	従事者数	1. 医師(常勤/非常勤) 2. 歯科医師(常勤/非常勤) 3. 薬剤師 4. 保健師 5. 看護師 6. 歯科衛生士 7. 診療放射線技師 8. 栄養士 9. 社会福祉士 10. その他			
		F7	患者数	外来/入院			
		F8	診療科	内科、外科など38科目			
		F9	へき地医療拠点病院指定を受けていますか？	1. はい 2. いいえ			
		F10	病院の診療圏の対象人口はおおよそ何人ですか。	1. ~999 2. 1000~4999 3. 5000~9999 4. 10000~49999 5. 50000~99999 6. 100000~			
		F11	病院の診療圏に抱えている地域の法律適用状況を教えてください。(複数可)	1. 過疎 2. 山村 3. 豪雪 4. 特豪 5. 離島 6. 沖縄 7. 奄美 8. 適応外			
		F12	同じ二次診療圏内には貴病院の他にいくつ病院がありますか。	1. なし 2. 1~4 3. 5~9 4. 10~19 5. 20~			
		F13	同じ二次診療圏内にはいくつ診療所がありますか。	1. 1~4 2. 5~9 3. 10~19 4. 20~			
		3. 遠隔医療の状況(医療機関専揮)	(1) 遠隔画像診断・遠隔病理診断	Q1-1	遠隔画像診断・遠隔病理診断による診療支援を行っていますか。	1. 行っている 2. 行っていない →Q2へ	★イメージ図(作成中)
				(利用状況)	Q1-2	どのくらいの頻度で行っていますか。	1. 毎日 2. 週1回以上 3. 月1回以上 4. 半年1回以上 5. 年1回以下 6. 全く利用していない
Q1-3	どのような効果がありましたか。(複数可)		1. 支援先の診断が正確になった 2. 支援先の医療機関の不安が軽減された 3. 支援先ないしは貴院により多くの患者を受け入れられるようになった 4. 患者の満足度が上がった 5. 上記以外の効果があった 6. 特に効果を感じなかった				
Q1-4	運営費は何でまかっていますか。(複数可)		1. 国、自治体の補助 2. 支援医療機関の補助 3. 各医療機関の支払う利用料 4. 患者の支払う利用料 5. 上記以外				
Q1-5	どのような課題がありますか。		1. 画像の精度が悪い、通信スピードが遅い 2. 操作が面倒である、システムが使いにくい 3. 設備費用・維持費が高い 4. スタッフのシステム処理能力が低い 5. 貴院側の専門医が足りない 6. 利用するインセンティブ(収入等)が少ない 7. 上記以外				
(利用受容)	Q2-1		利用してみたいと思いますか。	1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらかといえばそう思わない 4. そう思わない →Q2-2へ →Q2-2へ →Q2-3へ →Q2-3へ			
Q2-2	そう思う理由はどのようなことですか。		1. 支援先の診断が正確になると思われるから 2. 診療に関する支援先の不安が軽減されると思われるから 3. 支援先ないしは貴院により多くの患者を受け入れられるようになると思われるから 4. 患者の満足度が上がると思われるから 5. 上記以外				
(利用していない理由)	Q2-3		そう思わない理由はどのようなことですか	1. 設備費用・維持費が高いから 2. 貴院側の医師・医療従事者が足りないから 3. 操作が面倒である、システムが使いにくいから 4. 患者のニーズが低いから 5. 上記以外の理由			

視点	No.	質問項目	選択肢	備考	
(2)遠隔カンファランス	Q3-1	遠隔地の医療機関や保健センター間で、診療内容について、テレビ電話等を使って相談・会議(遠隔カンファランス)を利用していますか。	1. 行っている 2. 行っていない →Q4-1へ	★イメージ図	
	Q3-2	どのくらいの頻度で行っていますか。	1. 毎日 2. 週1回以上 3. 月1回以上 4. 半年1回以上 5. 年1回以下 6. 全く利用していない		
	Q3-3	どのような効果がありましたか。(複数可)	1. 診断が正確になった 2. 支援先で診療に携わる医師の不安が軽減された 3. より多くの患者を受け入れられるようになった 4. 患者の満足度が上がった 5. 上記以外の効果があった 6. 特に効果を感じなかった	(選択肢は5段階評価) 1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらともいえない 4. どちらかといえばそう思わない 5. そう思わない	
	Q3-4	運営費は何でまかなっていますか。(複数可)	1. 国、自治体の補助 2. 支援医療機関の補助 3. 各医療機関の支払う利用料 4. 患者の支払う利用料 5. 上記以外		
	Q3-5	どのような課題がありますか。(複数可)	1. 画像の精度が悪い、通信スピードが遅い 2. 操作が面倒である、システムが使いにくい 3. 設備費用・維持費が高い 4. スタッフのITを活用する技術が高くない 5. 相談を受ける側の専門医が足りない 6. 利用するインセンティブ(収入等)が小さい 7. 上記以外		
	(利用受容)	Q4-1	利用してみたいと思いますか。	1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらかといえばそう思わない 4. そう思わない →Q4-2へ →Q4-2へ →Q4-3へ →Q4-3へ	
	Q4-2	その理由はどのようなことですか。	1. 診断が正確になると思われるから 2. 支援先で診療に携わる医師の不安が軽減されると思われるから 3. より多くの患者を受け入れられるようになると思われるから 4. 患者の満足度が上がると思われるから 5. 上記以外		
	(利用していない理由)	Q4-3	そう思わない理由はどのようなことですか。(複数可)	1. 設備費用・維持費が高いから 2. 相談を受ける側の医師・医療従事者が足りないから 3. 操作が面倒である、システムが使いにくいから 4. 患者のニーズが低いから 5. 上記以外	

参考) 取り上げている遠隔医療技術

対象	对患者(地域住民)	医療関係者間
①住民	在宅健康相談(遠隔医療・健康・介護相談) 在宅健康管理・検査 緊急通報	/
②自治体 (市町村)	在宅健康相談(遠隔医療・健康・介護相談) 在宅健康管理・検査	遠隔カンファランス
③診療所	在宅健康相談(遠隔医療・健康・介護相談) 在宅健康管理・検査	遠隔画像診断・遠隔病理診断 遠隔カンファランス
④特定機能病院 ・地域中核病院	/	遠隔画像診断・遠隔病理診断 遠隔カンファランス